

内科専門医研修プログラム (磐田市立総合病院)

1 はじめに

磐田市立総合病院は地域の中核病院として市民の皆様から強い信頼を得ています。初期臨床研修病院としては県内では高い評価を受けていますが、専門医研修病院としても内科の全領域の専門診療科と専門スタッフを有し豊富な症例数ときめ細かい指導体制を誇ります。皆さんが内科専門医としてのスタートをきる施設として最適な環境であると信じています。



プログラム統括責任者 磐田市立総合病院 副院長兼教育担当部長 寺田 雅彦

2 目的

本プログラムは静岡県中東遠医療圏の中心的な急性期病院である磐田市立総合病院を基幹施設として、静岡県中東遠医療圏・近隣医療圏にある連携施設および特別連携施設の内科専門研修を経て地域の医療事情を理解し、その実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されかつ基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として地域で活躍できる内科専門医の育成を目的としております。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

磐田市立総合病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学病院、菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院

4 専攻医受入数

6名

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

内科基本コース

内科領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、3年間で内科領域のすべての診療科をローテーションします。1年目は磐田市立総合病院で内科、神経、腎臓、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、循環器、血液を1～2か月ずつローテーションします。2年目は地域医療の経験と症例経験が充足していない領域を研修するために連携・特別連携施設をローテーションします。3年目は再度磐田病院で内科、神経、腎臓、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、循環器、血液を1～2か月ずつローテーションし、充足していない内科領域の研修を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	磐田市立総合病院での研修											
	神経		消化器		呼吸器		循環器		腎臓		血液	内分泌代謝・内科
	総合初診と専門外来を週1回づつ担当する											
2年次	連携・特別連携施設での研修											
	外来については研修施設の規定に従う											
3年次	磐田市立総合病院での研修											
	血液	内分泌代謝・内科	神経	消化器	呼吸器	循環器	腎臓	血液	内分泌代謝・内科	充足していない領域		
	総合初診と専門外来を週1回づつ担当する											
その他の要件	JMECC、CPC、医療倫理、医療安全、感染防御に関する講演会への参加											
ローテーションについて	<ol style="list-style-type: none"> 1年次は磐田市立総合病院で神経、消化器、呼吸器、循環器、腎臓、血液、内分泌代謝、内科を1～2か月づつローテーションする。アレルギー、膠原病、感染症、救急は、各診療科で経験する。各診療科のローテーションの順番と研修期間は専攻医の希望に沿ってプログラム管理委員会が決定する。 2年次は必要な疾患群や在宅医療などの地域医療を経験するために連携・特別連携施設で研修する。研修は複数の施設で行われ、施設ごとに3～6か月の期間の選択ができる。研修施設の選択と診療科に関しては、専攻医の希望に配慮しながらプログラム管理委員会が決定する。 3年次は磐田市立総合病院で再度、磐田市立総合病院で神経、消化器、呼吸器、循環器、腎臓、血液、内分泌代謝、内科を1か月づつローテーションする。アレルギー、膠原病、感染症、救急は、各診療科で経験する。各診療科のローテーションの順番と研修期間は専攻医の希望に沿ってプログラム管理委員会が決定する。また、充足していない疾患群の研修に最大3ヵ月を当てることが出来る。 											
当直について	救急当直や病棟当直については研修施設の規定に従う											

・診療科重点コース1（1年型）

将来専門とするSubspecialty領域を1年間重点的に研修するコースです。1年目は磐田市立総合病院で内科、神経、腎臓、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、循環器、血液を1～2か月ずつローテーションします。2年目は原則、地域医療の経験と症例経験が充足していない領域を重点的に研修するために連携・特別連携施設をローテーションしますが、将来専攻するSubspecialty領域の診療科を浜松医科大学、菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院で研修することが出来ます。3年目は再度磐田病院で専攻するSubspecialty領域をローテーションします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	磐田市立総合病院での研修											
	神経		消化器		呼吸器		循環器		腎臓		血液	内分泌代謝・内科
	総合初診と専門外来を週1回づつ担当する											
2年次	連携・特別連携施設での研修											
	外来については研修施設の規定に従う											
3年次	磐田市立総合病院での研修											
	選択する診療科の研修									必要に応じて充足していない領域の研修		
	専門外来を週1回担当する											
その他の要件	JMECC、CPC、医療倫理、医療安全、感染防御に関する講演会への参加											
ローテーションについて	<p>1. 1年次は磐田市立総合病院で神経、消化器、呼吸器、循環器、腎臓、血液、内分泌代謝、内科を1～2か月づつローテーションする。アレルギー、膠原病、感染症、救急は、各診療科で経験する。各診療科のローテーションの順番と研修期間は専攻医の希望に沿ってプログラム管理委員会が決定する。</p> <p>2. 2年次は必要な疾患群や在宅医療などの地域医療を経験するために連携・特別連携施設で研修する。また、連携・特別連携施設で最大3ヵ月までのSubspecialty領域の研修も可能である（例：大学病院の専門診療科、市立御前崎総合病院での膠原病科研修など）。研修は複数の施設で行われ、3～6か月の期間の選択ができる。研修施設の選択に関しては、専攻医の希望に配慮しながらプログラム管理委員会が決定する。</p> <p>3. 3年次は磐田市立総合病院でSubspecialty領域の研修を行うが、充足していない疾患群の研修に最大3ヵ月を当てることが出来る。</p>											
当直について	救急当直や病棟当直については研修施設の規定に従う											

診療科重点コース2（2年型）

将来専門とするSubspecialty領域を重点的に2年間研修するコースです。1年目は磐田市立総合病院で内科、神経、腎臓、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、循環器、血液を1～2か月ずつローテーションします。また、専攻医の希望によっては1年目からSubspecialty領域の研修に当てることもできます。2、3年目は将来専攻するSubspecialty領域の診療科を磐田市立総合病院、浜松医科大学、菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院で研修を行います。研修時期、期間については専攻医の希望に配慮してプログラム管理委員会が決定します。また、地域医療の経験と症例経験が充足していない場合は、3年目に最大3ヵ月までその診療科の研修に当てることが出来ます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	磐田市立総合病院での研修											
	神経		消化器		呼吸器		循環器		腎臓		血液	内分泌代謝・内科
	総合初診と専門外来を週1回づつ担当する											
2年次	連携施設でのSubspecialty領域研修											
	外来については研修施設の規定に従う											
3年次	磐田市立総合病院または連携施設でのSubspecialty領域研修											
	選択する診療科の研修									必要に応じて充足していない領域の研修		
	専門外来を週1回担当する											
その他の要件	JMECC、CPC、医療倫理、医療安全、感染防御に関する講演会への参加											
ローテーションについて	<p>1. 1年次は磐田市立総合病院で神経、消化器、呼吸器、循環器、腎臓、血液、内分泌代謝、内科を1～2か月づつローテーションする。アレルギー、膠原病、感染症、救急は、各診療科で経験する。各診療科のローテーションの順番と研修期間は専攻医の希望に沿ってプログラム管理委員会が決定する。</p> <p>2. 2年次は連携・特別連携施設でSubspecialty領域の研修を行う。（例：大学病院の専門診療科、市立御前崎総合病院での膠原病科研修など）。研修は複数の施設で行われ、3～6か月の期間の選択ができる。研修施設の選択に関しては、専攻医の希望に配慮しながらプログラム管理委員会が決定する。地域医療は、連携施設・特別連携施設の公立森町病院、森町家庭医療センター、菊川家庭医療クリニックのいずれかで3ヶ月間、在宅医療などを経験する研修を行う。</p> <p>3. 3年次は磐田市立総合病院でSubspecialty領域の研修を行うが、充足していない疾患群の研修に最大3ヵ月を当てることが出来る。</p>											
当直について	救急当直や病棟当直については研修施設の規定に従う											

7 問い合わせ先

磐田市立総合病院医療支援課人事管理グループ 西藤 0538-38-5032 内5007